

「県立学校改革推進プラン・第3次実施プログラム」について

県教育庁企画管理部県立学校改革推進課

1 はじめに

本稿では、本県教育委員会が県立高校の改革を引き続き推進するため、平成28年3月に策定した「県立学校改革推進プラン・第3次実施プログラム」について紹介する。

2 これまでの高校再編の経緯

本題に入る前に、これまでの高校再編の経緯を説明する。

(1)「県立高等学校再編計画」の策定

中学校卒業者数の減少や国際化・高度情報化の進展、生徒の多様化等に対応するため、平成14年11月に「県立高等学校再編計画」（目標年次は平成14年度～23年度）を策定した。

3期にわたるプログラムを策定し、三部制定時制高校や総合学科の設置、女子校の共学化等を実施するとともに、学校の適正規模・適正配置等を進めた。

(2)「県立学校改革推進プラン」の策定

平成22年3月に策定した千葉県教育振興基本計画により、今後の魅力ある高校づくりの方向性を示し、「県立高等学校再編計画」に続く新たな計画として、平成24年3月に「県立学校改革推進プラン」（以下、プラン）を策定した。

プランは、平成24年度を初年度として、33年度までの県立学校改革に関する基本的考え方を示しており、普通科は一層の特色づくりを、専門学科等は教育の充実や活性化等を推進することとした。

(3)「県立学校改革推進プラン」の推進

プランは、具体計画である「実施プログラム」に基づき推進することを基本としている。

これまで策定した2つの実施プログラムによる再編の一部を紹介する。平成28年度は、本県2校目となる併設型の県立中高一貫教育校である東葛飾中学校を開校したほか、千葉工業高校に進学に特化した理数工学科を、小金高校に普通科を改編して進学を重視した総合学科を設置した。

なお、来年度は、木更津高校に理数科を、佐倉西高校に福祉コースを設置する予定である。

3「第3次実施プログラム」の特徴と内容

「第3次実施プログラム」は、キャリア教育の推進、職業系専門学科の充実、活力ある教育活動の維持の3点を特徴としている。

具体的には、12項目の再編を計画しており、個々の計画内容は次のとおりである。

(1)普通科及び普通系専門学科・コース

①教員基礎コースの設置

将来教員を目指す生徒に、基礎的な素養を身に付けさせ、夢や意欲、職業意識を育むため、我孫子高校と君津高校に教員基礎コースを設置する。（平成30年度）

②保育基礎コースの設置

小学校入学前までの乳幼児に対する保育や幼児教育に興味関心を持つ生徒に、基礎的な素養を身に付けさせ、夢や意欲、職業意識を育むため、市川南高校に保育基礎

コースを設置する。 (平成 31 年度)

③グローバル化に関する学びの導入

世界を舞台に活躍できるグローバル人材を育成するため、**松尾高校にグローバル化に関する学び**を導入した。 (平成 28 年度)

④国際に関するコースの設置

グローバル化など社会の変化に対応し、併せて、豊かな国際感覚を養うため、**匝瑳高校に国際に関するコース**を設置する。

なお、コース設置に伴い、現在ある英語科は募集を停止する。 (平成 29 年度)

(2)職業系専門学科・コース

①「農業に関する学科」の学科再構成

中学生や保護者、中学校関係者にわかりやすい学科体系及び名称とするため、農業に関する学科を、**園芸科、農業科、食品科学科、土木造園科、畜産科、生物工学科**の 6 学科に再構成する。 (平成 30 年度)

②「工業に関する学科」の学科再構成

学習内容と学科名の整合性を図り、目的意識の高い生徒が志願できるよう、**下総高校の航空車両整備科を自動車科**に変更する。 (平成 30 年度)

③「商業に関する学科」の学科再構成

農業同様に、中学生や保護者、中学校関係者にわかりやすい名称とするため、商業に関する学科を、**商業科と情報処理科**の 2 学科に再構成する。 (平成 30 年度)

④福祉コースの設置

地域や県全体の福祉教育の充実を図るため、**我孫子東高校に福祉コース**を設置する。 (平成 31 年度)

(3)総合学科

生徒の多様な進学希望に対応するとともに、将来を見通したキャリア意識の高い人材を育成するため、**幕張総合高校の普通科**

を改編し、進学を重視した**総合学科**を設置する。 (平成 31 年度)

(4)社会のニーズに対応した教育

①単位制の導入

生徒一人一人の興味関心に応え、併せて幅広い進路選択を可能とするため、**安房高校に単位制**を導入する。 (平成 30 年度)

②防災の学びの導入

東日本大震災におけるコンビナート火災の教訓を生かし、防災教育を推進するため、**市原八幡高校に防災の学び**を導入する。

(平成 31 年度)

(5)全日制高校の配置（統合）

市原地区の中卒者数の減少や学校の小規模化に対応するため、**市原高校と鶴舞桜が丘高校を統合**する。使用校舎は市原高校とし、鶴舞桜が丘高校のグリーンキャンパスを農業の実習場として引き続き使用する。

統合校には、両校の学びを継承して普通科、園芸科及び商業に関するコースを設置する。また、鶴舞桜が丘高校の福祉コース・緑地管理コースも引き続き設置する。

(平成 31 年度)

4 おわりに

本県教育委員会では、今後も引き続き、「県立学校改革推進プラン」に基づき、実施すべき高校改革について、検討を進め、必要な改革案を公表し、パブリックコメントなどを実施しながら、幅広く県民の御意見をいただき、新たなプログラムを策定していくこととしている。

「決定！平成27年度魅力ある県立学校づくり大賞」

県教育庁企画管理部県立学校改革推進課

本県教育委員会では、魅力ある県立学校づくりの取組において、他の学校にとって参考となり、優れた成果があったと認められる県立学校を「魅力ある県立学校づくり大賞」として表彰している。

本稿では、平成27年度の表彰校について紹介する。

1 教育長賞

◇銚子商業高等学校

ー地域に夢を広げようー

地元産品を使った、企業との連携による新商品の開発、銚子電鉄支援事業でのイベントの企画やインターネットによる募金活動などが大きな話題を呼んだ。こうした産学官の連携、地元活性化への具体的な取組などが評価された。



2 優秀賞

◇流山おおたかの森高等学校

ーはばたけ！おおたかっ子！世界へ！未来へ！ー

オールイングリッシュの授業、海外高校生の短期受け入れなど、国際感覚を身に付けるための積極的な活動や新聞を活用するNIE授業など、学校独自の取組が評価された。



◇成田国際高等学校

ー夢をかたちに！

学びを力に！ー

成田という立地を生かし、グローバル人材育成のためのカリキュラム開発・研究、地域や海外機関との連携、ボランティア活動など、積極的な取組が評価された。昨年度から、SGH（スーパーグローバルハイスクール）に指定された。



◇下総高等学校

ーしもふさおいもプロジェクトー

「しもふさ サツマイモパン」という商品開発を通して、地域との連携を図りながら、農工商3つの学科が各分野において特色を生かした取組を展開した。各種全国大会での活躍や商業関係の資格取得などの実績も評価された。



◇旭農業高等学校

ー地域とともに歩むー

農業高校として地域と深く結びつき、信頼を得ている。旭市は東日本大震災で被災した地域であり、地元小学生とともに学校で収穫したお米を、被災者の方々に無償で配布する活動などが評価された。



◇茂原樟陽高等学校

ー6つの専門力で元気と未来づくりー

6つの専門学科の特色を生かした取組が評価された。生産技術科における農業クラブ全国大会農業鑑定最優秀賞や電子機械科のロボット開発、電気科の風力発電コンペなどの取組が、新聞等でも多く取り上げられた。



3 「一校1キラッ！」学校概要部門

優秀賞

千葉高等学校

船橋古和釜高等学校

船橋豊富高等学校

我孫子東高等学校

印旛明誠高等学校

館山総合高等学校

湖北特別支援学校



表彰式での記念撮影

「千葉県から全国へ」

～平成27年度児童生徒科学論文・工夫作品より～

県総合教育センターカリキュラム開発部科学技術教育担当

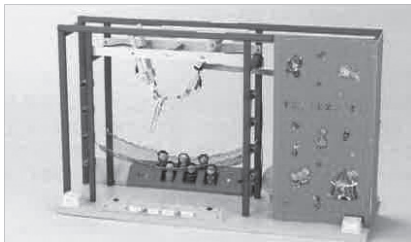
県総合教育センターでは、毎年、「千葉県児童生徒・教職員科学作品展」を実施し、特に優秀な作品を全国展に出品しています。

千葉県の作品は、いずれの全国展でも高い評価を得ています。特別賞を受賞した、いくつかの作品を紹介いたします。

☆「第74回全日本学生児童発明くふう展」
発明協会会長賞

「TRAPEZIST 1」

船橋市立行田西小学校 5年 高橋 諒



＜審査評＞

電磁石を使っておもしろい動きを調整の中から表現している。複数の動きを組み合わせ、高い完成度の作品である。

他にも千葉県の児童生徒の皆さん4人が奨励賞を受賞し、7人が入賞しました。

☆「第52回全国児童才能開発コンテスト科学部門」

全国都道府県教育委員長協議会会長賞

「バッタの研究 パートⅤ～さらなる色変わりの謎の解明へ～」

千葉市立大宮台小学校 6年 本澤 伸幸

＜審査評＞

バッタの「スジ模様への体色の変化」、「ピンクバッタの色変わり」を工夫した実験装置で再現し、体色変化の原因を明らかにした。

全国都道府県教育長協議会会長賞

「セミのふ化と羽化について Ver.2015

一令幼虫はどのような土を好んで地中にもぐり、五令幼虫は何を感じて地中から

でてくるのか」

千葉市立緑町小学校 5年 須田 光

＜審査評＞

セミの羽化と天気、気温、湿度との関係、一令幼虫のふ化、幼虫がもぐる土の条件を詳細な測定、観察、考察によって解明している。

他にも千葉県の児童1人が入賞しました。

☆「第59回日本学生科学賞」

環境大臣賞

「オオカナダモ電池への挑戦」

千葉市立稲毛高等学校附属中学校

1年 稲川 翔子

＜審査評＞

燃料電池や化学電池の基礎を応用し、オオカナダモの光合成を利用した安定発電のできるアルミ-銅電極オオカナダモ電池を開発している。発展性のある秀逸な論文である。

環境大臣賞

「電極以外で起こる電気分解」

渋谷教育学園幕張高等学校 化学部

＜審査評＞

実験中に折れて電極から離れてしまった電極片でも電気分解が行われていることに気づき、その現象が起こる条件を突き止めた。

他にも千葉県の生徒が旭化成賞を受賞し、3団体が入選しました。

詳しくは総合教育センターホームページ「科学作品選集」を御覧ください。

また、平成28年度千葉県児童生徒・教職員科学作品展は10月15日(土)16日(日)の2日間、総合教育センターで一般公開されます。児童生徒の作品等ぜひ、御覧ください。

※＜審査評＞は千葉県児童生徒・教職員科学作品展のもの

使ってみよう！ ICT ～ ICT 活用事例集の紹介～

県総合教育センターカリキュラム開発部メディア教育担当

電子黒板、実物投影機、デジタルカメラ、プロジェクター、DVD プレーヤー、タブレット端末など、「ICT 機器」の導入が着実に進んでいます。同時に「せっかく導入されたのになかなか使えない」「有効な活用法がわからない」「〇〇だけあっても…」といった声も聞こえてくるようになりました。

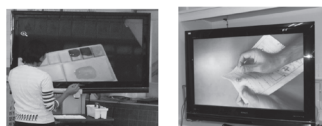
そんな声に応えるべく、本県総合教育センターで作成したのが、今回紹介する『ICT 活用事例集』です。平成 27 年度「教育情報化推進リーダー養成研修」に参加した先生方から紹介のあった活用例を 5 つのカテゴリーに整理し、機器の接続編と合わせてリーフレットにまとめたものです。

以下に内容を簡単に紹介します。

①「拡大提示」編

使ってみよう ICT① (ICT 活用事例集) 平成 28 年 3 月発行
～あの先生も活用しているよ～

**おおきくすると
わかりやすいね**



絵の具の色をわかりやすく 先生の手元を児童に見せる

実物投影機による拡大表示を試みよう。

千葉県総合教育センターメディア教育班

ICT 活用の最初の一步は”大きく”映して見せることです。①では拡大提示について紹介しています。先生の手元や注目させたい部分などを大きく映して見せてみましょう。子どもたち

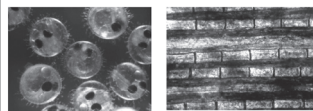
の視線が集まり、理解も深まります。また、他にも「これは大きく見せたいな」というものを探してみましょう。きっとたくさん見つかるはずです。拡大提示だけでも、これまでの授業が大きく変わります！

②「見えないものを見せる」編

使ってみよう ICT② (ICT 活用事例集)

～あの先生も活用しているよ～

見えないものを見ちゃおう！



メダカの卵の様子 ドジョウの尾ひれの血流の様子

ICT機器を使い見えないものを映してみよう。

千葉県総合教育センターメディア教育班

ものすごく小さいもの、ものすごく速く動くものなど、人間の目ではとらえにくいものでも、ICT 機器を活用すればしっかり見せることができます。電子顕微鏡やハイスピードカメラ

などを上手に活用して、日常では見えにくいものをどんどん見せてあげましょう！子どもたちはワクワクドキドキ、目を輝かせて見るはずです。そして、たくさんの新たな発見に出会うことでしょう。

③「明確に見せる」編

使ってみよう ICT③ (ICT 活用事例集) 平成 28 年 3 月発行

～あの先生も活用しているよ～

**はっきり クツキリ
ガッチリ つかめ**



視点ははっきり

めもクツキリ

ICT を利用してわかりやすい授業をしよう。

千葉県総合教育センターメディア教育班

子どもたちに何を気付かせたいのか、何を理解させたいのか、目的に応じて明確に見せることで、理解がグッと深まります。滋賀県総合教育センター作成の簡易実物投影ソフト

「EyeZou」も紹介しています。このソフトが入った CD は、県総合教育センターメディア棟 2 階で配布しています。

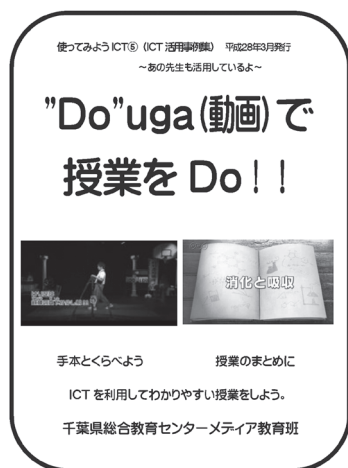
④「振り返りや発表」編



体育などで自分や友達の姿を振り返ること、自分の考えを友達に伝えることは、大切な学習活動の一つです。そんな時にも ICT 機器は大活躍！デジタルカメラやタブレット端末など

を使うと、簡単に自分たちの姿を振り返って見ることができます。客観的に自分たちの姿を見ることで、意外な発見があるかもしれません。また、発表場面ではテレビや電子黒板等に映しながら発表することで、自分の考えが友達に伝わりやすくなります。タブレット端末の便利なアプリ（ロイノート）も紹介しています。

⑤「動画の活用」編



今、世の中には自由に利用できる映像教材がたくさんあります。授業の導入や問題提示等の場面、ポイントに気付かせたい場面など、利用してみたい場面がでしかる。一例として、無料コンテンツ「NHK for school」の活用を紹介しています。各学年、各教科ごとに分類されたさまざまな映像教材が紹介されていますので、ぜひ Web で御覧ください。教材研究用としても、活用することができます。

また、現在はトップページに右のショートカットアイコンも用意しています。このアイコンをクリックして、授業を変えるヒントを探してみましょう！

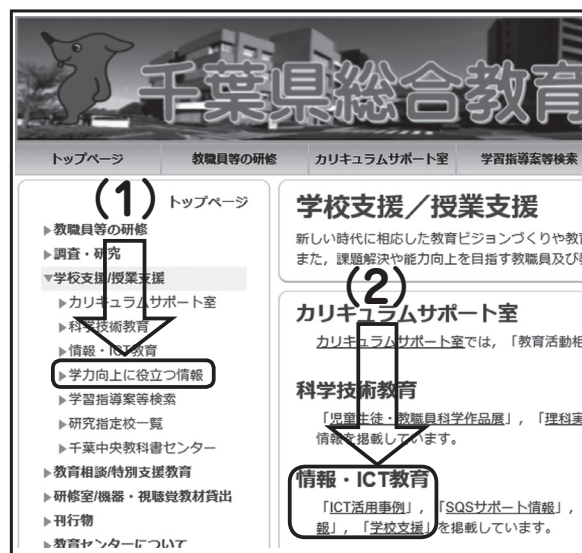
⑥「機器の接続等」編



最後は機器利用のまとめです。まずは「何をしたい？」をはっきりさせましょう。やりたいことが決まったら、続いて「どうやって接続する？」と考えていきます。困った時、迷った時

にヒントとなる 1 枚です。

以上、内容を簡単に紹介しました。各リーフレットには、具体的な事例や機器利用のヒントが掲載されていますので、ぜひ活用してください。県総合教育センターの Web サイト (<http://www.ice.or.jp/nc/>) から下図のとおりに進むと、PDF ファイルでダウンロードできます。



また、現在はトップページに右のショートカットアイコンも用意しています。このアイコンをクリックして、授業を変えるヒントを探してみましょう！

